

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年 05月 16日

事務事業名	園芸作物生産施設整備支援事業				担当	産業環境部 農政課 園芸畜産係					
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり				電話番号	0285-83-8139				
施策名	1	農業の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度～)				
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	4.園芸特産費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )						
事業概要	園芸作物の生産拡大と新規作物の産地育成を図るため、にら、トマト、なす、アスパラガス、春菊等の園芸作物の新規導入、生産規模拡大支援する。パイプハウス整備等の費用の3/10以内で補助。										

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段 (主な活動)	⑤活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移									
28年度実績 ・補助金交付事務 事業費 6,000千円 × 3人 = 18,000千円 補助率 3/10 限度額 1,800千円 算出基礎 18,000千円 × 3/10 = 5,400千円	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)			
	ア : 補助金額	千円					2,864	5,400		
	イ									
	ウ									
	エ									
	オ									
29年度計画 ・H28年度同様										
②対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移									
・園芸作物生産者	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)			
	ア : 園芸作物農家数	戸					260	260		
	イ									
	ウ									
	エ									
	オ									
③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移									
・園芸作物生産地の維持と農業経営の安定	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)			
	ア : 支援を受けた農家数	戸					4	3		
	イ : 支援を受けた農家の割合	%					2,864	5,400		
	ウ									
	エ									
	オ									
④結果 (どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑧上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の推移									
・園芸立国もおかの推進	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)			
	ア : 主要園芸作物栽培面積	ha					60.4	60.4		
	イ : 主要園芸作物販売高	億円					1.8	1.8		
	ウ : 主要園芸作物出荷量	t					4091	4091		
	エ									
	オ									
(2) 総事業費の推移	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	2,864	5,400	
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	2,864	5,400	
人 件 費	正規職員従事人數	人	0	0	0	0	1	1		
		延べ業務時間	時間	0	0	0	30	30		
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	125	125		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	2,989	5,525			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか。	農業従事者の高齢化により、園芸作物においても、生産者数・栽培面積とも年々減少傾向にあるなか、産地の維持、新たな担い手の育成及び既存生産者の生産規模拡大を図るために、H28年度から開始された。									
②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?										
③この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?										

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 園芸作物生産設備支援事業は、いちごの産地維持及び産地の育成強化につながり、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 園芸作物の産地の維持及び産地の育成強化は、重要なことであり、公的関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 園芸作物生産設備への補助は、園芸作物の産地の維持及び産地の育成強化につながり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 園芸作物生産設備への補助は、園芸作物の産地の維持及び産地の育成強化に結びついており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 園芸作物生産設備支援事業の廃止は、園芸作物の産地の維持及び産地の育成強化に支障をきたすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の経費であり、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の人件費であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で農家も応分の負担をしており、公平公正である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="ghost"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								